⑺　既存の記録映像、またそれに紐づく手術情報及び患者情報を引継ぎ、本システムでも継続して映像の確認及び編集が行えること。
⑻　手術室患者画像情報システムは本学の麻酔記録システムと連携し、患者情報、手術情報、執刀医情報を取得できること。
⑼　手術室患者画像情報システムは本学の麻酔記録システムのイベント情報により自動入室情報表示、自動録画の開始、自動録画の停止ができること。
⑽　手術室患者画像情報システムは本学のＨＩＳと連携し、ユーザーマスタ、職員マスタ及びパスワード情報を取得できること。
⑾　手術室患者画像情報システムは編集端末で作成した静止画を本学の画像ファイリングシステムに転送できること。
⑿　電源は二重化すること。
⒀　電源異常時、10分間以上電源供給可能な無停電電源装置を装備すること。
⒁　外来棟４階、サーバ室に設置される機器は、19インチ46Ｕラックに収めること。
⒂　ラックは、必要に応じ用意すること。

C　監視モニタリングシステム
⑴　手術室内及び手術室周辺廊下に天井ドームカメラを設置すること。
⑵　天井ドームカメラは夜間暗視モードでの撮影が可能なＩＰカメラであること。
⑶　手術室内の天井ドームカメラの映像は各手術室の画面合成装置にも映像を入力すること。
⑷　天井ドームカメラの映像はカメラサーバーに24時間撮影で60日保存すること。
⑸　カメラサーバーは、電源異常時、10分間以上電源供給可能な無停電電源装置を装備すること。
⑹　監視モニタリングシステムは各天井ドームカメラの映像、各手術室内の映像記録配信装置の録画映像及び生体情報モニタの映像配信が可能であること。
⑺　多画面分割でリアルタイム映像配信が可能であること。
⑻　プリセット登録呼び出しで簡単に表示内容を切り替えることができること。
⑼　配信を表示する壁面大型モニタは24時間連続稼働が可能であること。
⑽　監視モニタリングシステムの配信端末は予期せぬシャットダウンに耐えられること。

D　手術室患者画像情報閲覧編集用端末
⑴　手術室患者画像情報閲覧編集用端末に本学のＨＩＳをインストールすること。
⑵　記録・編集後の映像を外部メディアに保存できること。
⑶　手術映像をリアルタイムで視聴可能なこと。
⑷　手術室患者画像情報システム用サーバに蓄積された映像を編集できること。
⑸　ユーザーの映像視聴、編集のログをサーバに保存できること。

E　手術室患者画像情報閲覧用相乗りソフトウェア
⑴　本学のＨＩＳ端末に視聴ソフトウェアのインストールを行い動作可能なこと。
⑵　ネットワーク負荷を鑑み、ＨＩＳ端末からの同時視聴アクセス数の制限ができること。
⑶　手術室のライブ映像を視聴可能なこと。
⑷　手術室患者画像情報システム用サーバに蓄積された動画のカット編集、静止画の作成ができること。ただし、動画取り出しは編集用端末からのみとし、ＨＩＳへの静止画コピー＆ペーストは可能であること。
⑸　本学の麻酔記録システムの波形画像表示から、呼び出し開始時間を指定して手術室患者画像情報システム用サーバに蓄積された該当患者の動画の再生が可能であること。

F　病理画像迅速配信システム
⑴　病理室の顕微鏡映像又は病理診断映像をリアルタイムに手術室に配信できること。
⑵　病理室において配信したい手術室を選択し、病理室及び手術室の双方向で会話が可能であること。
⑶　病理室側でも手術室のライブ映像を視聴可能なこと。
⑷　配信中のライブ映像に対し、アノテーション機能にて画面上に書き込みが出来ること。
⑸　複数端末の書き込みに対応するため、書き込みの出来る色は５色以上用意すること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　令和６年７月８日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒060―8648 札幌市北区北14条西５丁目　北海道大学病院管理課係長（用度第一係）　戸來　茂樹　電話011―706―7401
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　令和６年５月23日から令和６年７月８日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　令和６年５月31日11時00分
⑵　開催場所　北海道大学病院管理課入札室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Operating room patient visual information system 1 set
⑶　Type of the procurement : Purchase
⑷　Basic requirements of the procurement :
A　Operating room video system
⑴　With the system, it should be possible to intuitively switch between videos, such as those from a surgical field camera, endoscope equipment, microscope equipment, robotic surgery equipment, and biological information monitor, on the touch panel monitor in the ceiling-mounted arm monitor, large wall monitor, and recording device in the operating room. Additionally, the system should use existing equipment for the surgical field camera, ceiling-mounted arm monitor, and large wall monitor.
⑵　The rack input terminals of the operating room wall and video system should be installed and wired. The shape of the input terminal should be a BNC terminal, assuming HD-SDI, 3G-SDI, and 12G-SDI signals.
⑶　A conversion device should be installed for endoscopes, microscopes, and video input devices as needed, according to the shape of the input terminal.
⑷　The input video must be able to be used to create a video for medical safety using a screen compositing device.
⑸　The video switcher device must be able to retrieve 4K video using 12G-SDI signals.
⑹　The video system controller must be able to operate the switcher, recording, ceiling-mounted arm monitor, surgical field camera, and pathology distribution system.
⑺　The video system controller must obtain information on patients entering the operating room and display it on the touch panel.
⑻　The video recording device should transfer the input video to the operating room patient image system server in real-time and save the video file. An emergency recording function should also be present.
⑼　The video recording device should be able to record to a USB device brought in from the clinical department with the same image quality as that saved on the server. However, the video recording device must have a function that allows USB devices to be checked for viruses using anti-virus software owned by the hospital, and it should only use USB devices that have been checked for viruses within the specified period. Additionally, when saving video using a USB device, the device should have a function for saving logs.